

# NACERA® Hybrid

## 安全データシート

JIS Z 7253 : 2012 に準ずる

発行日: 2017/09/07 改訂日: 2017/09/07 バージョン: 1.00

### 1. 化学品及び会社情報

#### 製品特定名

製品名 : NACERA® Hybrid

化学品の名称 : NACERA® Hybrid

#### 推奨用途及び使用制限

推奨用途 : 医療および歯科用機器・備品製造業。

#### 会社情報

##### 仕入先

DOCERAM Medical Ceramics GmbH

44309 GermanyDortmund

Heßlingsweg 65-67

T +49-231-92 56 68-0 - F +49-231-92 56 68-60

##### SDS 担当の有資格者の電子メールアドレス

sds@kft.de

##### その他

この他の情報問い合わせ先: 供給業者／製造業者を見る

緊急通報用電話番号: +81 (0)72 727 2499

### 2. 危険有害性の要約

ラベル表示適用外

#### 他の危険有害性

分類に寄与しないその他の危険有害性 : 粉塵は、爆発性のある、空気との混合物を形成する可能性がある。  
本製品の粉塵は、目の炎症を引き起こす場合がある。

処理時の追加危険有害性 : 粉塵は空気と共に引火性と爆発性のある混合物を形成する場合がある。

### 3. 組成及び成分情報

コメント : 混合物。

### 4. 応急措置

#### 応急措置

応急措置 一般 : 少しでも疑いがある場合、または症状が続く場合は、医者と呼ぶ。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。

飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 眼に入った場合 : 本製品の粉塵は、目の炎症を引き起こす場合がある。

## その他の医学的アドバイスまたは治療

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。  
治療

## 5. 火災時の措置

適した消火剤 : 水噴霧。乾燥粉末消火剤。二酸化炭素。大規模火災時: 耐アルコール泡。水噴霧。

使ってはならない消火剤 : 強力な水噴流。

火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。

消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
自給式呼吸器。  
完全防護服。

その他の情報 : 汚れた消火剤が排水溝や河川に流入しないようにする。  
管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

## 6. 漏出時の措置

### 非緊急対応者

応急処置 : 漏出エリアを換気する。

### 緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。  
詳細については、第8項の「暴露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項 : 地下への浸透を避ける。  
下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。

### 封じ込め及び浄化方法及び機材

浄化方法 : (箒で掃除したり、シャベルでかき回したりしながら) 道具を使って集め、  
廃棄のために、適切な容器に入れる。

その他の情報 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。  
個人用保護具を着用する。  
製品は閉鎖環境でのみ取り扱うか、局所排気装置のある場所で取り扱う。

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
製品取扱い後には必ず手を洗う。

処理時の追加危険有害性 : 粉塵は空気と共に引火性と爆発性のある混合物を形成する場合がある。

### 保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。

共用保管室に関する情報 : 動物用のものも含めて、食べ物や飲み物から離れた所に保存する。

保管温度 : 10 - 30 ° C

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 作業所の十分な換気を確保する。粉塵発生の可能性がある場合、局所排気が推奨される。
手の保護具	: 繰り返しまたは長時間触れる場合は、手袋を着用する。EN 374。適切な手袋を選択するには、材料の種類だけでなく、各メーカーごとに異なる他の品質の機能で決定します。製造業者が指定する浸透性と浸透時間を遵守する。手袋は、各使用後及び摩耗あるいは穿孔が少しでも見られる場合は交換しなければならない。
眼の保護具	: 粉塵が発生した場合：保護眼鏡。EN 166。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。
呼吸用保護具	: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。EN 143。粉塵が発生した場合：フィルター付きの呼吸器具。
環境への暴露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。
その他の情報	: 粉じん、ヒューム、ミストを吸入しないこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 固体。
外観	: 製品仕様による。
臭い	: 無臭。
pH	: 非該当
蒸発速度 (酢酸ブチル = 1)	: 非該当
融点	: 非該当
凝固点	: 非該当
沸点	: 非該当
引火点	: 非該当
自然発火温度	: 自然発火しない。
燃焼性(固体、気体)	: 非該当
爆発限界 (vol %)	: 非該当
蒸気圧	: 非該当
比重	: 非該当
1.89 g/cm <sup>3</sup>	: 1.89 g/cm <sup>3</sup>
水	: 0.04 g/l 不溶性
爆発特性	: 物質は爆発性ではない。粉塵は、爆発性のある、空気との混合物を形成する可能性がある。
爆発限界 (vol %)	: 非該当

動的粘度:	: 非該当
動粘性率:	: 非該当
VOC 含有量	: 0 %

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 区分外。 (利用あのようなデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
急性毒性(経皮)	: 区分外。
急性毒性(吸入)	: 区分外。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 区分外。 (利用あのようなデータに基づいて、分類基準を満たしていない) pH: 非該当。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 区分外。 (利用あのようなデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 区分外。 (利用あのようなデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
生殖細胞変異原性	: 区分外。 (利用あのようなデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
発がん性	: 区分外。 (利用あのようなデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
生殖毒性	: 区分外。 (利用あのようなデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分外。 (利用あのようなデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分外。 (利用あのようなデータに基づいて、分類基準を満たしていない)
吸引性呼吸器有害性	: 区分外。 (該当しない)

## 12. 環境影響情報

水生環境(急性)	: 区分外。
水生環境(慢性)	: 区分外。

NACERA® Hybrid	
残留性・分解性	追加情報なし

NACERA® Hybrid	
生体蓄積性	追加情報なし

NACERA® Hybrid	
土壌中の移動性	追加情報なし

オゾン層への有害性 : 区分外。  
 その他の有害な影響 : 追加情報なし

### 13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。  
 家庭ごみと一緒に廃棄しない。  
 排水溝や環境への廃棄は避ける。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

道路輸送 (ADR)	道路輸送 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)	内陸水路輸送 (ADN)	鉄道輸送 (RID)
<b>国連番号</b>					
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
<b>品名</b>					
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
<b>輸送危険物分類</b>					
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
<b>容器等級</b>					
非該当	非該当	非該当	非該当	非該当	非該当
<b>環境有害性</b>					
環境有害性: いいえ	環境有害性: いいえ	環境有害性: いいえ 海洋汚染物質: いいえ	環境有害性: いいえ	環境有害性: いいえ	環境有害性: いいえ

海洋汚染物質 : いいえ

#### 国内規制

その他の情報 : 補足情報なし。

### 15. 適用法令

化審法 : 優先評価化学物質 (法第 2 条第 5 項)

---

水質汚濁防止法	: 指定物質（法第2条第4項、施行令第3条の3）
消防法	: 指定可燃物、可燃性固体類（法第9条の4、危険物令第1条の12・別表第4）
大気汚染防止法	: 有害大気汚染物質に該当する可能性のある物質（中央環境審議会第9次答申）
海洋汚染防止法	: 有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1）
外国為替及び外国貿易法	: 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 輸出貿易管理令別表第1の14項 輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2（輸出の承認）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	: 廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの（平10三省告示1号）
水道法	: 有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101号）
下水道法	: 水質基準物質（法第12条の2第2項、施行令第9条の4）
じん肺法	: 法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業
規則参照	: 収載なしー日本 ENCS（既存化学物質）インベントリー、CAS 959-36-4, CAS 10373-78-1

## 16. その他の情報

参考文献	: サプライヤーの安全データシート。
安全データシート発行部門:	: KFT Chemieservice GmbH Im Leuschnerpark. 3 64347 Griesheim Postfach 1451 64345 Griesheim Germany  Phone: +49 6155-8981-400 Fax: +49 6155 8981-500 Safety Data Sheet Service: +49 6155 8981-522
連絡窓口	: Dr. Johann Klassen